

日本環境感染学会教育委員会主催 医療疫学トレーニングコース実施概要

2012年6月1日

昨年度に引き続き、本学会教育委員会の主催により、医療疫学(Healthcare Epidemiology)のトレーニングコースを開催いたします。概要を下に示します。申し込み方法については、参加募集要項をご覧ください。尚、本トレーニングコース全プログラム修了者には修了書が授与されます。

目的: 医療関連感染に関する疫学と集団発生(アウトブレイク)の原因調査に関する知識を備えた病院疫学者を育成すること。

目標: 本トレーニングコース修了時点で、受講者は

1. 医療関連感染の集団発生(アウトブレイク)調査に必要な疫学ならびに統計学の基本的知識を習得できる。
2. 集団発生の原因調査の手順に関する知識を習得できる。
3. シミュレーション演習を通し、集団発生調査のデータの解釈の仕方、原因探究の実際のプロセスを理解できる。

注: 本トレーニングコースは、集団発生の現場対応の実際を習得することを目的とはしていない。

日時: 2012年11月10日・11日(土曜日・日曜日)

場所: 東京医科歯科大学(東京都文京区)

募集人数: 40名。

募集時条件: (以下の3つを満たしていること)

- ① 日本環境感染学会の会員であること
- ② 医療関連感染対策の分野における活動経験(3年程度)があること(どのような活動経験か、具体的にお書きください。例 ICT 歴3年)
- ③ 疫学・統計学に関する強い関心があること

参加費: 2万5千円(情報交換会会費込み)

タイムスケジュールおよび内容:

第1日目(11月10日)

8:30~ 受付開始。

8:50~ オリエンテーション。

9:00~11:45 疫学・統計学(1) 医療関連感染の集団発生時の原因調査に必要な疫学ならびに統計学に関する基礎知識を学習する。アウトブレイクの文献例も提

示する。

- 13:00～15:15 Outbreak Investigation(1) 血液内科病棟における MDRP 感染症の集団発生事例を取り扱う。時、人、場所の情報などを整理し、疫学的アプローチによって事例の真相に迫る。興味深い結末が待っている。
- 15:30～17:00 国内集団発生事例の紹介 国内で発生したアウトブレイク事例をとりあげ、初動対応から原因探索までの実際のプロセスを紹介する。
- 17:00～17:15 写真撮影
- 17:30～19:30 情報交換会(希望者のみ。コース申し込み時に希望を確認する。)

第2日目(11月11日)

- 8:30～10:00 疫学・統計学(2) 前日学習した疫学ならびに統計学の知識をもとに、文献の批判的吟味を実施する。(批判的吟味に使用する文献は、参加申し込みが受理された後、本コース受講予定者に個別にお知らせする予定である。)
- 10:15～11:45 Outbreak Investigation(2) 簡単な計算式を用いて、医療疫学の基本的な統計処理に必要な演算を学ぶ。具体的には、症例対照研究に関する文献などを用いて、曝露要因と疾患の関連を評価する指標であるオッズ比を求め、曝露要因のリスクの大きさを考える。さらに、95%信頼区間の算出し、統計学的に有意差があるかを確認する。また、Web 上で公開されている無料ソフトの紹介も行う予定。
- 13:00～16:30 Outbreak Investigation(3) NICU(新生児特定集中治療室)で発生したセラチア菌保菌アウトブレイク事例を小グループに分かれて検討し、アウトブレイクの原因を探る。検討結果を発表し、参加者全員で討議する。また、アウトブレイク解析で重要な分子疫学ツールである PFGE(パルスフィールドゲル電気泳動法)についても解説を加える。
- 16:30～17:00 総括、修了書授与。
- 17:00 解散。